

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

入 退 院 支 援 室 と は ？



入退院支援とは、患者・家族が退院後に必要な情報を理解し、退院後の療養場所や方法等を自己決定すると共に、可能な限り自立した生活を送れるようすること。

患者・家族が望む療養生活が可能になるように、疾病や傷害が生活全般に及ぶ影響を把握し、退院調整に関わる様々なスタッフが協働して計画的に退院後の療養生活を整えるために活動していきます。

入退院支援室と言っても何をするとところ?の方が多いため、具体的に簡単に説明しますと、患者受診入院の搬送を看護師と救急救命士が行う。当院からの転院搬送も行う。

退院前訪問指導・退院後訪問指導・訪問看護同行指導を自宅や施設で行う等の事を外来・救急・地域連携課・医療事務課・病棟・認定看護師と連携して、病院完結型ではなく地域完結型を目指していき、患者さんの再入院リスクを少しでも軽減できたらと思っています。

また、搬送・訪問指導を実施することで、搬送料・管理料・指導料の診療報酬加算が見込めることも経営面でもプラスと考えています。入院前から連携して関わることで、効率的なベッド運用にもつながります。現在は新型コロナ渦の中、入退院支援というより感染対策チームの応援が主となっていて、門前での発熱者・渡航者・濃厚接触者を院内に入れないように問診をし、コロナウイルスの感染拡大防止に努めています。今後新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いて稼動し始めた際には御指導御鞭撻よろしくお願い致します。

沖縄協同病院 入退院支援室 又吉隆也

産婦人科外来体制表

○2021年3月から外来体制が変更になります。

	月	火	水	木	金	土
午前 医師外来	大村更紗	畑 春香	嘉陽真美	與那嶺尚絵	中村 薫	
午後 医師外来	交代		1ヶ月健診	交代		
助産師外来	○	○		○	産婦健診	

《診療開始時間・受付終了時間》
午前：9:00 ～ 11:00
午後：2:00 ～ 4:00
(午後の医師外来受付は 1:30 ～ 3:00 です)

- ◆体制は急に変更になることもあります、事前にお問い合わせ下さい。
- ◆産婦健診は、産後の方を対象に健診及び母乳ケアを行います。

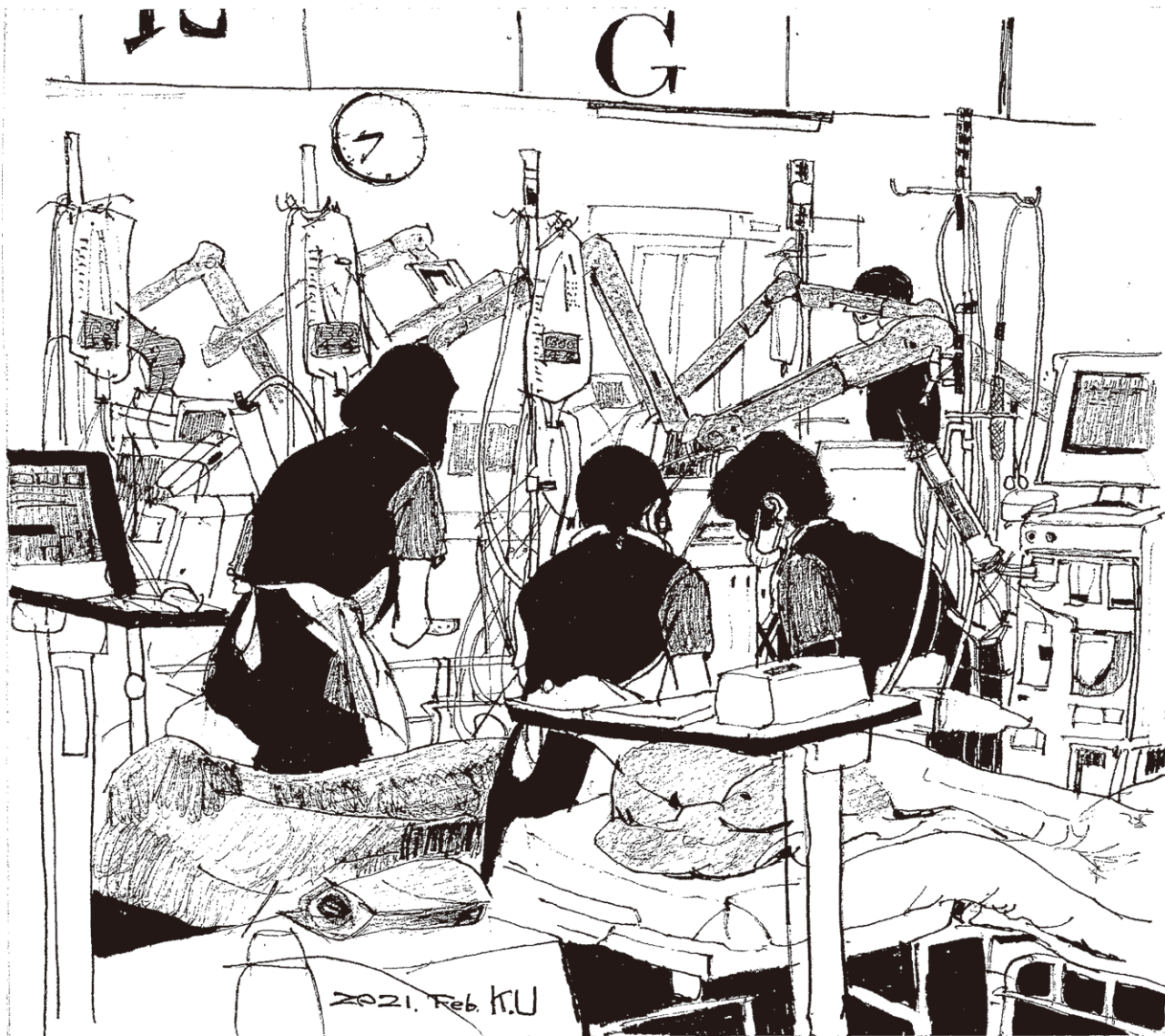
問い合わせ先 病院代表 TEL 098-853-1200
※問い合わせは午前11時30分以降にお願いします。



病院の 活動状況
＜2021年1月度＞

- ・ 外来一日平均患者数： 275人 (前年同月比 -97人)
- ・ 入院一日平均患者数： 272人 (前年同月比 -9人)
- ・ 組合員利用分量(率)： 55.6% (前年同月比 -0.6%)

私は誰でしょう? —透析室にて 朝のプライミング(準備)風景—



画・内科医 上原 和博



<ご意見・ご要望>

サポーターケア担当
看護師さんへ

12月28日無事退院できました。

主人が癌だと診断された時、すごく落ち込みました。

帰る前にカウンセリングを受ける時、最初はカウンセリングなんていないかと思っていました。

でも、話をしているうちに、段々気持ちが落ち着いていきました。病気のサポートはもちろん、病気以外の話をしたり、私達のどうでもいい世間話も笑って聞いてくれて帰りは暗い気持ちではなく前向きに病気について話しながら帰る事が出来ました。

やっぱり、サポートは必要ですね!

気持ちの持ちようが全く違いました。ありがとうございました。



ハルサー だより ③

カボチャ

今の時期はトマトの収穫とマンゴーの世話で忙しく、アタイグワまで手が回らない。その為、庭は草ぼうぼうの荒れ放題だったが、タイミングよくカボチャの種が入ったので植えてみた。カボチャなら雑草の出る幕はないだろう。案の定カボチャの葉はどんどん成長し、実も見るたびに大きくなっている。このまま順調にいけば、三月中旬にはカボチャのテンプラとスープにありつけるだろう。

さて、先の浦添市長選結果で軍港を建設することが現実味を帯びてきた。そこでアタイグワを眺めてしばし軍港について考えてみる。私にとって那覇軍港は奥武山で開催されるイベントの駐車場のイメージでしかない(一九七四年の返還合意から四十七年経つ)。いままであまり気にもしなかったが、なぜ今まで使われていない軍港を誘致するのか。

遊休化している那覇軍港は狭くて浅い。当然新軍港は深く広くなり、機能も強化されるだろう。その規模に合わせ原子力空母も入港できるようになり、放射能汚染の危険も出てくる(実際、一九六八年に那覇軍港で米原潜から放射能漏れが起きている)。辺野古と同じ道だ。さらに思いを巡らせる。西海岸の軍港は、米にとっては対アジア対策で好都合だ。有事の時にホワイトビーチや辺野古から出撃するには遠回りになる。

浦添に軍港が出来たら、辺野古の海兵隊、嘉手納の空軍、浦添の陸・海? 軍と沖縄は完璧な前線基地になる。的になるだろう。今度は自ら捨て石になるのか。

何事も最悪の事を考えるのが私の癖である。前期高齢者になったのでアタイグワを眺めて静かに暮らしたいのに...

ハルサー 金城 稲子